

資料編

1) 旧柏市・旧沼南町緑の計画の概要

柏市緑の基本計画(平成 14 年1月)

■基本理念と緑の将来像

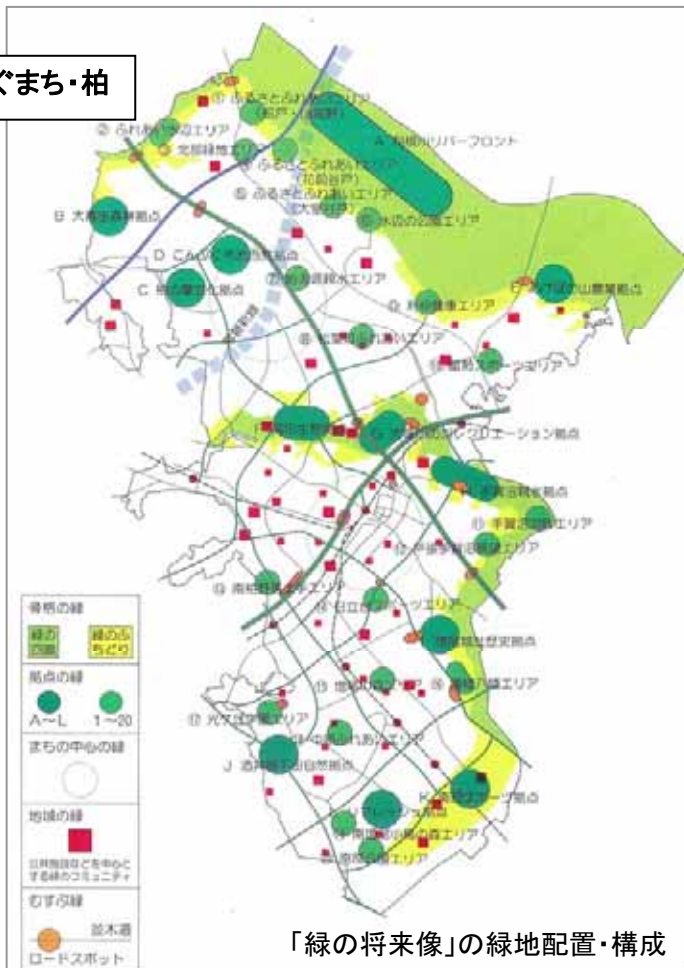
自然がやさしく、緑と水の美しい、心やすらぐまち・柏

- しっかりと維持する「骨格の緑」
- 柏を代表する公園緑地、「拠点の緑」
- 緑豊かな柏の顔、「まちの中心の緑」
- 地区ごとに特徴的な「地域の緑」
- 緑の帯となって市内を巡る「むすぶ緑」

■基本方針

みんなでつくる みりよくある みどりのまち・柏
 一人と緑のふれあいハートプラン

1. 緑をまもる取り組み ーくらしの環境基盤を構築する緑をまもります
2. 緑をつくる取り組み ーまちの個性となる緑をつくります
3. 緑をそだてる取り組み ー全体的な体制を確立し、緑を育てます



■計画のフレーム

- ・ 目標年次 平成 32 年
- ・ フレーム 人口 37.2 万人 市域 7, 291ha

■目標水準

●都市公園等の整備量

- ・ 都市公園 10 m²/人以上
- ・ 都市公園等 20 m²/人以上

●緑地確保

- ・ 市街地面積 13%以上
- ・ 都市計画区域 30%以上

●緑化の目標

- ・ 公共施設、民有施設、住宅、工場等の新築に際し、敷地の 10%以上を植栽地・花壇として確保

■推進のための施策

1. 緑をまもる取り組み
 - ・ 樹林・農地の保全と活用
 - ・ 水辺や農地の保全と活用
2. 緑をつくる取り組み
 - ・ 公園の整備
 - ・ 美しい並木づくり
 - ・ 河川緑地の整備と緑化
 - ・ 公共施設の緑化
 - ・ まちなみの緑化
 - ・ 緑地協定等の推進
 - ・ 緑化推進重点地区の指定と緑化推進
3. 緑をそだてる取り組み
 - ・ 市民参加による緑の育成
 - ・ 緑を育てる人づくり
 - ・ 財団法人 柏市みどりの基金の活用

沼南町緑の基本計画(平成 16 年 3 月)

■緑の将来像と計画の目標

水と緑のふるさと・沼南一わたりが育てる『うるおいと安らぎのあるまちづくり』

1. 豊かな緑の骨格とネットワークが息づくまち
2. 緑の中の暮らしが実感できるまち
3. 町民・団体・事業者・町が緑でつながるまち

■基本方針

1. 沼南らしい特色のある緑を守り育てる
2. まちの緑の拠点と軸をつくる
3. 花や緑が美しいまちなみをつくる
4. 緑のまちづくりが息づく仕組み・体制をつくる



■計画のフレーム

- ・ 目標年次 平成 32 年
- ・ 人口 6.4 万人 町域 4, 199ha

■目標水準

●緑地確保水準

- ・ 都市計画区域 36%

●都市公園等の整備水準

- ・ 都市公園 11 m²/人
- ・ 都市公園等 20 m²/人

●緑化目標

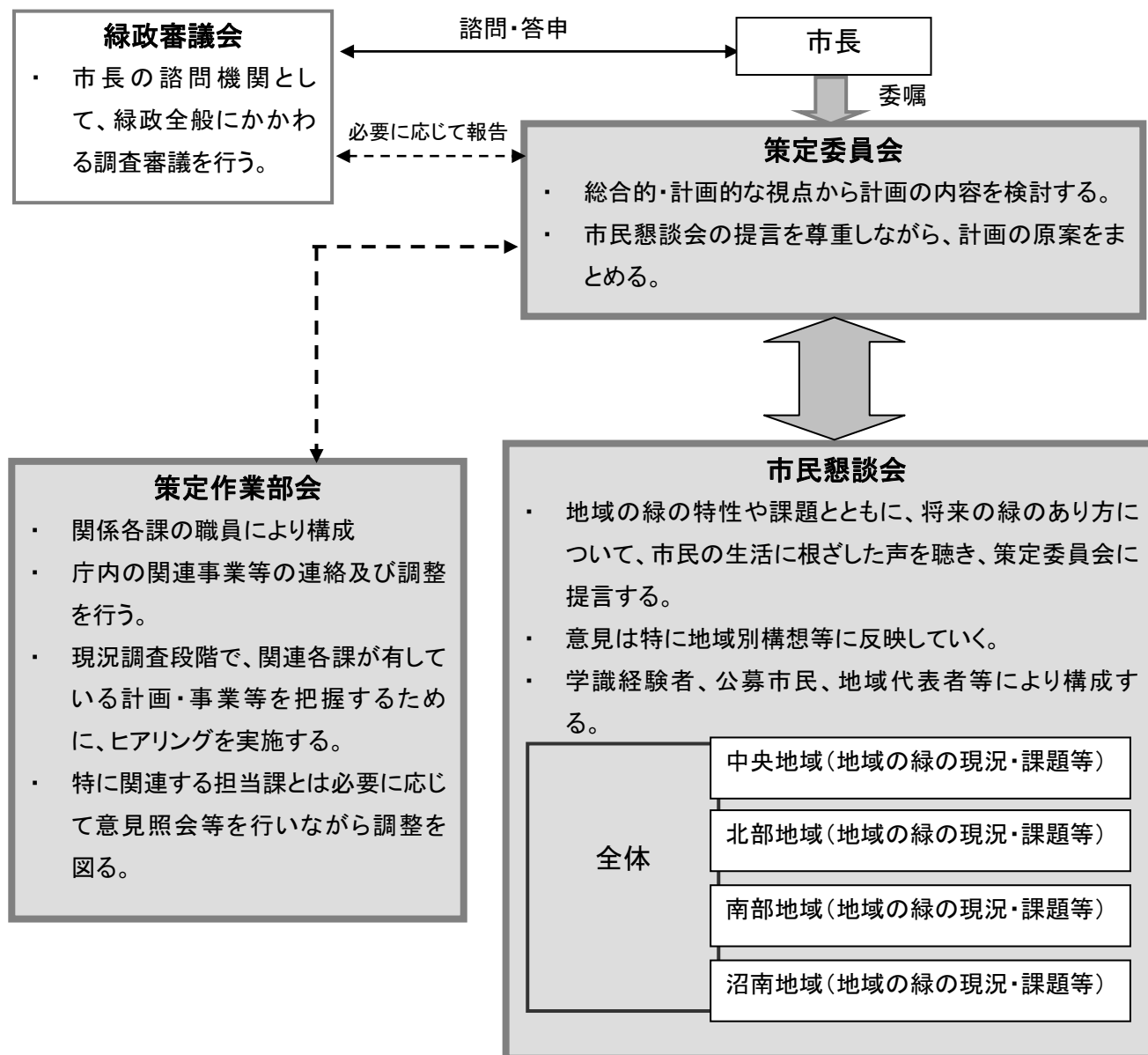
- ・ 地域とのかかわりに配慮し、敷地に対して 10%以上の緑化に努める

■推進のための施策

1. 沼南らしい特色のある緑を守り育てる
 - ・ 手賀沼周辺の水辺と緑の保全・育成
 - ・ 手賀沼沿い斜面林保全ネットワーク
 - ・ 里山などの緑の保全・育成
 - ・ 河川の緑の保全・活用
 - ・ ふるさとの緑に親しめる道づくり
2. まちの緑の拠点と軸をつくる
 - ・ 地域にふさわしい公園緑地の整備
 - ・ 道路と沿道の緑化推進
 - ・ 公共公益施設を活かした緑の拠点づくり
3. 花や緑が美しいまちなみをつくる
 - ・ 住宅地の緑化推進
 - ・ 工業団地・大学・基地周辺などの緑化推進
 - ・ 高柳駅前のシンボルとなる表情づくり
 - ・ 花と緑のふれあい回廊づくり
 - ・ 開発にあわせた緑の確保
4. 緑のまちづくりが息づく仕組み・体制をつくる
 - ・ 緑に関する意識啓発の推進
 - ・ 緑の維持管理の充実とリサイクルの推進
 - ・ 緑のまちづくりを担う人材の育成・活用
 - ・ 緑の保全や緑化推進にかかわる支援制度と仕組みづくり

2) 緑の基本計画の策定体制等

①策定体制とそれぞれの役割



② 柏市緑の基本計画策定委員会

柏市緑の基本計画策定委員会名簿

氏名	職名等	委員名
委員長 横張 真	東京大学大学院新領域創成科 教授	学識経験者
阿久津 好明	東京大学大学院新領域創成科 准教授	専門委員(環境審議会)
大久保 昭	財団法人柏市みどりの基金 理事	専門委員((財)柏市みどりの基金)
落合 実	日本大学生産工学部 准教授	専門委員(都市計画審議会)
木村 多喜雄	柏市農業委員会(会長)	地域関係団体等委員
郡司 千代子	牧場跡地の緑と環境を考える会	市民懇談会委員(南部地域)
小林 辰夫	柏市社会福祉協議会(副会長)	地域関係団体等委員
寺嶋 佳一	かしわ里山の会	市民懇談会委員(北部地域)
日暮 正人	柏市都市緑政部長	行政委員
日野原 純子	沼南手賀沼ボランティア会	市民懇談会委員(沼南地域)
広瀬 清美	かしわ女性会議	市民懇談会委員(中央地域)
丸山 高志	柏青年会議所(理事)	地域関係団体等委員
宮脇 勝	千葉大学大学院工学研究科 准教授	専門委員(景観デザイン委員)
森 和夫	柏法人会(会長)	地域関係団体等委員
森市 咲子	柏商工会議所(女性会副会長)	地域関係団体等委員
山本 勝利	独立行政法人農業環境技術研究所 生物多様性領域 主任研究員	学識経験者

柏市緑の基本計画策定委員会 開催経緯

● 第1回策定委員会(平成19年6月25日)

- ・ 委員委嘱
- ・ 策定委員会の趣旨・スケジュール等
- ・ 緑の基本計画の概要等



● 第2回策定委員会(平成20年2月25日)

- ・ 緑の現況調査等
- ・ 市民懇談会結果等の報告(アンケート調査の結果・市民懇談会意見等)
- ・ 緑の計画課題



③柏市緑の基本計画策定市民懇談会

柏市緑の基本計画策定市民懇談会名簿

地区		氏名	所 属 等	地区・活動等	
北部地域	地域代表	山林所有者	寺 嶋 佳 一	北部地域 緑の基本計画策定委員	大青田
		市民活動団体	大 久 保 徹	ちば里山トラスト	布施新町
		地域代表	藤 田 武 志	松葉町地域ふるさと協議会	松葉町
		地域代表	吉 松 成 子	柏市消費生活相談員	松葉町
	代表市民	一般公募	清 水 耕 一 郎		花野井
		一般公募	中 島 忠 臣		松葉町
中央地域	地域代表	山林所有者	金 子 榮 三	かしわ里山の会	柏4丁目
		市民活動団体	篠 崎 将	名戸ヶ谷ビオトープを育てる会	増尾
		地域代表	山 口 武 伸	旭町地域ふるさと協議会	旭町3丁目
		地域代表	広 瀬 清 美	中央地域 緑の基本計画策定委員	新富町
	代表市民	一般公募	荒 川 則 男		豊四季
		一般公募	菊 田 洋 子		あかね町
南部地域	地域代表	山林所有者	日 暮 義 市	かしわ里山の会	逆井
		市民活動団体	齋 藤 吉 弘	酒井根下田の森緑地里山協議会	東山
		地域代表	長久保 健二	南部地域ふるさと協議会	逆井
		地域代表	郡 司 千 代 子	南部地域 緑の基本計画策定委員	つくしが丘
	代表市民	一般公募	青 木 保 雄		加賀
		一般公募	岩 城 さ と		増尾
沼南地域	地域代表	山林所有者	村 田 新 衛	かしわ里山の会	手賀
		山林所有者	渡 来 武 敏	かしわ里山の会	高柳
		市民活動団体	日野原 純子	沼南地域 緑の基本計画策定委員	大津ヶ丘
		市民活動団体	中 村 明	大津川をきれいにする会	高柳
		地域代表	村 越 茂	手賀地域ふるさと協議会	手賀
		地域代表	室 井 三 千 代	大津ヶ丘地区社協	大津ヶ丘
	代表市民	一般公募	井 上 朗		高南台
		一般公募	田 沼 瑩 史 朗		大島田
		一般公募	津 田 勝 博		手賀
学識経験者		横 張 真	緑の基本計画策定委員	東京大学大学院教授	
学識経験者		山 本 勝 利	緑の基本計画策定委員	(独)農業環境技術研究所	
座 長		吉 田 臣 一 郎	柏市都市緑政部公園緑政課長		

④ 柏市緑の基本計画策定作業部会

柏市緑の基本計画策定作業部会名簿

公園緑政課	公園管理室	都市緑地担当室
街路課	財団法人柏市みどりの基金	企画調整課
環境保全課	農政課	産業政策課
市場整備室	道路建設課	治水課
都市計画課	学校施設課	文化課

柏市緑の基本計画策定作業部会 開催経緯

●第1回作業部会(平成19年10月30日)

- ・ 緑の基本計画の策定に向けて
- ・ 作業部会の役割と各課計画とのすり合わせ(各課の関連計画等のヒアリング調書配布)
- ・ 今後の作業内容

●その他 ヒアリング実施(平成19年12月19日)

- ・ 都市計画課(都市計画マスタープラン・景観計画)
- ・ 環境保全課(環境基本計画等)

3) 各課ヒアリング調査のまとめ

担当	1. 『緑の基本計画』と関連する所管の計画・事業等	2. 緑の保全・育成・創出等にかかわる施策の今後の課題	3. 緑の基本計画に対する意見(関連計画・事業等にかかわらない)
企画部企画調整課 企画調整担当	第四次総合計画中期基本計画 (平成18年度～22年度) 第4章 環境共生 第1節 豊かな水と緑に親しむ 1. 緑の保全と創出 2. 治水と親水空間の形成 第6章 定住促進		緑地の保全や公園整備などを中心とした「骨格の緑」「拠点の緑」「地域の緑」から、これからは「むすぶ緑」として街路事業と一体的に街路樹を創出する施策に重点を置いてはどうか。緑の状況や目標を緑の面積で一律に表現するのではなく、波及効果となる地球温暖化の効果等、別の尺度で表現すると少ない面積でも大きな評価が期待できるのではないかと。
経済部農政課 農産担当	柏市森林整備計画 (平成15年4月1日から平成25年3月31日) ・人工林の間伐 ・住宅地周辺の森林整備	・あけぼの山農業公園 壁面への緑化対策(現在、夏季期間において、あさがお、にがうり等の植物により緑化) ・都市農業センター(道の駅しようなん) 施設内の緑化	・休耕地の有効利用 ・排水路沿線の緑化 ・土地開発の指導強化 ・個人保有林の保護、管理
経済部産業政策課	(仮称)柏市都市農業活性化計画 (平成21年度策定予定) 産産、産学官等の連携による農業の活性化に向けた条件整備を推進し生産・流通・消費の循環による		

担当	1. 『緑の基本計画』と関連する所管の計画・事業等	2. 緑の保全・育成・創出等にかかわる施策の今後の課題	3. 緑の基本計画に対する意見(関連計画・事業等にかかわらない)
	農業分野の新たな取り組みを位置づけ、農業の産業化を目指して地域経済の活性化を図る。		
経済部市場整備室 市場整備担当	<ul style="list-style-type: none"> ・柏市公設総合地方卸売市場長期整備基本計画 ・柏公設市場の移転整備について(平成18年3月策定) ・大青田の森の保全 ・大青田の湿地の保全 		<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の自然環境に配慮した新市場整備 ・駐車場緑化, 屋上緑化等 ・大青田の森等の保全策について具体的な方策を検討する ・行政主体で検討することが望ましいが, 民間法人等の参入も視野に入れる。
環境部環境保全課 環境保全担当	<ul style="list-style-type: none"> ①柏市環境基本計画(旧柏のみ) ②柏市みず環境プランⅡ ③柏市地球温暖化対策条例 ④柏市地球温暖化対策計画 ⑤柏市地域新エネルギービジョン ⑥自然環境調査 ⑦湧水保全事業 ⑧ビオトープ整備事業 ⑨エコアクションプラン ⑩関係する県の計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・名戸ヶ谷ビオトープはじめ, ホタル生息地等の小規模な水辺, ・施設緑化に関して, 省エネルギー(ヒートアイランド防止に向けた屋上, 壁面緑化)と温室効果ガス吸収効果の視点の明確化 ・貴重植物等の生息域の保全等の方策と困難な場合の対策 ・外来生物の除去 ・害虫駆除と化学物質の利用削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス吸収源としての緑地の保全と緑化についての方向性を明示 ・自然環境調査において提案されている緑地, 生態系等を含む地域の保全 ・市民活動団体のネットワーク化と継続活動の確保する施策が必要 ・剪定枝等によるバイオマス発電等の新エネルギー利用の可能性がない
都市計画課 企画総務・景観担当	柏市都市計画マスタープラン 平成18年度全体構想 平成19年度地域別方針 平成20年度最終とりまとめ		
都市計画課 企画総務・景観担当	柏市景観計画 平成19年11月告示		
街路課	柏市道路緑化基本計画		
土木部道路建設課	<p>(1) 塚崎・藤ヶ谷道路(6154号線)整備事業 緑の基本計画(旧沼南地区)の「花と緑のふれあい回廊」に位置づけ有</p> <p>(2) 新市道路整備事業(旧柏と旧沼南地区の連携) 新市計画の中で計画的に整備する4路線(歩道部に植栽有) 緑の基本計画の位置づけはないが, 歩行者ネットワークや緑の回廊に活用できるか?</p> <p>(3) その他路線</p>	新市道路以外の道路事業は歩行者等交通安全の確保を最優先課題として取り組んでおり, 厳しい財政事情を勘案すると拡幅を伴う道路緑化は位置づけされても, 整備は甚だ困難な状況にある。	
土木部治水課 計画担当	柏市環境治水基本計画 水環境に配慮した治水治水(多自然型の水路整備、公共貯留浸透施設) 保水と流量確保(流出抑制施設、河川流量の確保) 水辺の再生と活用(大規模雨水調節池の多目的利用、市民が触れる水辺の整備、水辺のネットワーク)	調整池と公園施設の共用及び多目的利用 野馬土手の大木化と古木化対策	手賀沼沿い斜面林の保全 谷津田の保全 里山の保全 緑をつくるのも必要であるが守る取り組みが重要である。

担当	1. 『緑の基本計画』と関連する所管の計画・事業等	2. 緑の保全・育成・創出等にかかわる施策の今後の課題	3. 緑の基本計画に対する意見(関連計画・事業等にかかわらない)
学校整備部学校施設課学校整備室 学校整備担当	市立柏高等学校第二体育館整備事業 時期:平成 20 年度から平成 22 年度工事予定(平成 22 年度内開館予定) ・緑化基準による緑の確保 ・屋上緑化	・第二体育館に伴う敷地拡張は約 5,700 m ² であるが、都市計画法の改正により学校施設においても開発行為の手続を取ることになったため、開発面積は現校地と合わせた約 67,000 m ² になる。開発面積から新たに多くの植樹をしなければならない。開校から 30 年が経ちその間に増築もあり、樹木も成長した中で残されたスペースに数百本の植樹は非常に難しい。 ・今後、小中学校等の校舎増築に伴う敷地拡張の場合、現基準で開発することは非常に難しくなり事業推進に影響してくる。	
学校整備部学校施設課学校整備室 学校整備担当	名称:風早南部小学校移転整備事業 時期:平成 20 年度から平成 22 年度工事予定(平成 22 年度内開校予定) ・緑化基準による緑の確保 ・屋上緑化	・都市計画法の改正により、学校施設においても開発行為の手続をとることになった。緑化基準に合わせると施設計画に大きく影響してくることも考えられる。教育施設においては、グラウンド等で多くの面積がとられることから、開発面積からの除外や芝生を植栽率に換算できるような基準を設けていただきたい。 ・開発時点での緑化基準という考えだけではなく、小中学校の敷地は、学校教育や行事等により、植樹や芝生化等を経年の中で段階的に創出も可能であることから、緑化基準を達成すべき期間を設け、その計画を実行することでの許可はできないか。 ・北部地域の土地区画整理事業地内に新たな小中学校の計画があり、教育環境を整えるうえで緑は重要と考えるが、事業地周辺の公共緑地の状況なども考慮したうえで、学校建設や維持管理に大きな負担とならない開発ができる「緑の基本計画」を望む。	
生涯学習部 文化財担当		指定文化財の保全	郷土の景観 緑地として保存すべき文化財地区(史跡等) 野馬土手と一体となった緑地 遊水池・池と一体となった緑地

4) 都市公園以外の施設緑地・保全系緑地調書

分類	名称	面積 (ha)
都市公園に準じる公園		
児童遊園	高野台児童遊園	0.37
	南柏児童遊園	0.20
	布瀬児童遊園	0.10
	手賀児童遊園	0.04
	片山児童遊園	0.05
	岩井児童遊園	0.02
	池の上子供の遊び場	0.07
	鷺野谷子供の遊び場	0.08
	泉子供の遊び場	0.02
	片山兵主八幡神社子供の遊び場	0.07
	塚崎団地児童遊園	0.06
	計	1.08
	子供の遊び場	根戸子供の遊び場
妙蓮寺子供の遊び場		0.14
豊住二丁目子供の遊び場		0.04
豊住五丁目子供の遊び場		0.05
富士見町子供の遊び場		0.10
高田子供の遊び場		0.04
逆井協栄子供の遊び場		0.30
松ヶ崎第三子供の遊び場		0.14
若草子供の遊び場		0.06
今谷上町子供の遊び場		0.03
戸張子供の遊び場		0.03
花野井子供の遊び場		0.04
増尾三本松子供の遊び場		0.06
篠籠田子供の遊び場		0.07
八原子供の遊び場		0.25
中新宿第四子供の遊び場		0.07
新青田子供の遊び場		0.07
新栄町第二子供の遊び場		0.24
低見台子供の遊び場		0.49
南増尾第二子供の遊び場		0.13
新林子供の遊び場		0.33
南増尾第四子供の遊び場		0.10
東中新宿子供の遊び場		0.20
逆井野沢子供の遊び場		0.08
今谷南子供の遊び場		0.61
富里豊町子供の遊び場		0.03
小青田子供の遊び場		0.01
布施新田子供の遊び場		0.02
富士見町第二子供の遊び場		0.11
新富町子供の遊び場		0.03
旭町四丁目子供の遊び場		0.06
松ヶ丘子供の遊び場		0.21
南逆井柏南子供の遊び場		0.09
箕輪薙子供の遊び場		0.15

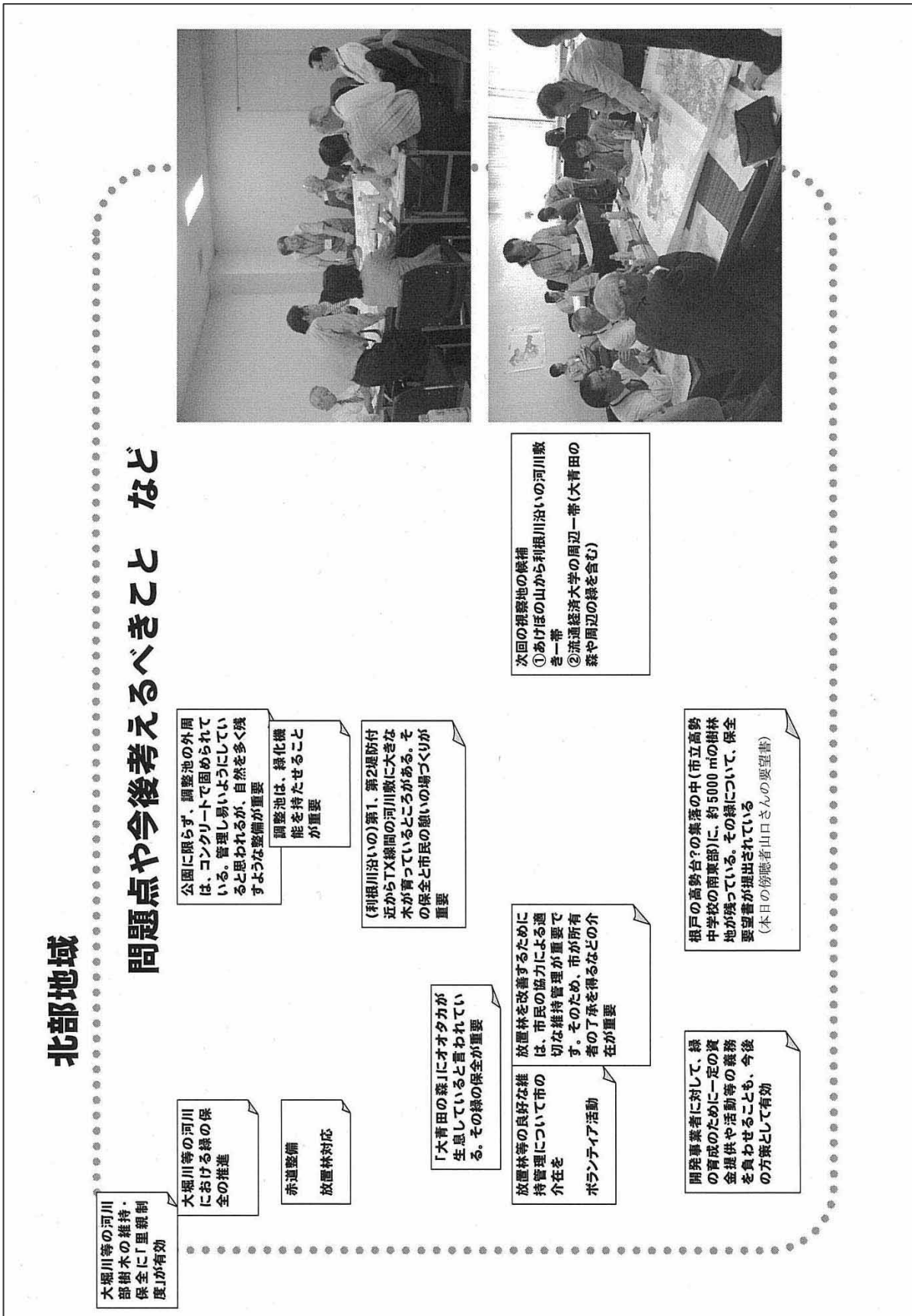
分類	名称	面積 (ha)
	藤ヶ谷新田四ツ久保子供の遊び場	0.18
	金山根古子供の遊び場	0.22
	手賀下ノ坊子供の遊び場	0.04
	藤ヶ谷西谷子供の遊び場	0.07
	大井中井子供の遊び場	0.07
	布瀬東原子供の遊び場	0.15
	柳戸塙子供の遊び場	0.06
	泉向山子供の遊び場	0.09
	高柳蟹打子供の遊び場	0.08
	藤ヶ谷ふれあい公園	0.49
	計	5.85
農業公園	あけぼの山農業公園	17.70
小計	計	17.70
グラウンド		
市立小学校グラウンド	柏市立田中北小学校	1.50
	柏市立田中中学校	2.03
	柏市立花野井小学校	1.68
	柏市立十余二小学校	1.68
	柏市立西原小学校	1.70
	柏市立富勢西小学校	1.65
	柏市立松葉第一小学校	1.67
	柏市立松葉第二小学校	1.66
	柏市立富勢小学校	1.46
	柏市立高田小学校	2.59
	柏市立柏第四小学校	1.74
	柏市立柏第七小学校	1.69
	柏市立柏第一小学校	0.96
	柏市立柏第六小学校	1.71
	柏市立柏第五小学校	1.33
	柏市立柏第二小学校	1.27
	柏市立旭小学校	1.56
	柏市立旭東小学校	0.80
	柏市立柏第三小学校	2.77
	柏市立名戸ヶ谷小学校	2.01
	柏市立豊小学校	1.25
	柏市立柏第八小学校	1.58
	柏市立光ヶ丘小学校	1.22
	柏市立中原小学校	1.72
	柏市立土小学校	0.93
	柏市立増尾西小学校	1.46
	柏市立酒井根東小学校	1.38
	柏市立藤心小学校	2.01
	柏市立酒井根小学校	1.62
	柏市立酒井根西小学校	1.56
	柏市立逆井小学校	1.79
	柏市立土南部小学校	1.89
	柏市立富勢東小学校	1.24
	風早北部小学校	0.92
	手賀西小学校	1.28

分類	名称	面積 (ha)
	大津ヶ丘第一小学校	1.75
	手賀東小学校	1.48
	大津ヶ丘第二小学校	1.61
	風早南部小学校	1.52
	高柳小学校	1.36
	高柳西小学校	1.68
	計	64.71
市立中学校グラウンド	柏市立田中中学校	2.83
	柏市立西原中学校	1.79
	柏市立松葉中学校	1.88
	柏市立富勢中学校	2.15
	柏市立柏第五中学校	2.12
	柏市立柏第三中学校	1.93
	柏市立柏中学校	3.61
	柏市立豊四季中学校	1.61
	柏市立柏第二中学校	2.70
	柏市立柏第四中学校	1.92
	柏市立中原中学校	1.78
	柏市立土中学校	1.67
	柏市立光ヶ丘中学校	2.01
	柏市立酒井根中学校	2.04
	柏市立逆井中学校	1.91
	柏市立南部中学校	1.75
	大津ヶ丘中学校	2.32
	手賀中学校	1.19
	風早中学校	1.66
	高柳中学校	2.50
	計	41.37
運動場	富勢運動場	7.19
	逆井運動場	3.74
	宮田島運動場	1.56
	塚崎運動場	2.99
運動広場	酒井根運動広場	1.81
	名戸ヶ谷運動広場	2.72
	利根運動広場	9.82
	逆井運動広場	0.66
	山高野運動広場	0.81
	高田運動広場	1.14
	柏ビレジ運動広場	1.99
	中の橋運動広場	0.15
	清水健康広場	0.44
	リフレッシュプラザ多目的	0.82
	日立総合グラウンド	12.00
	計	47.84

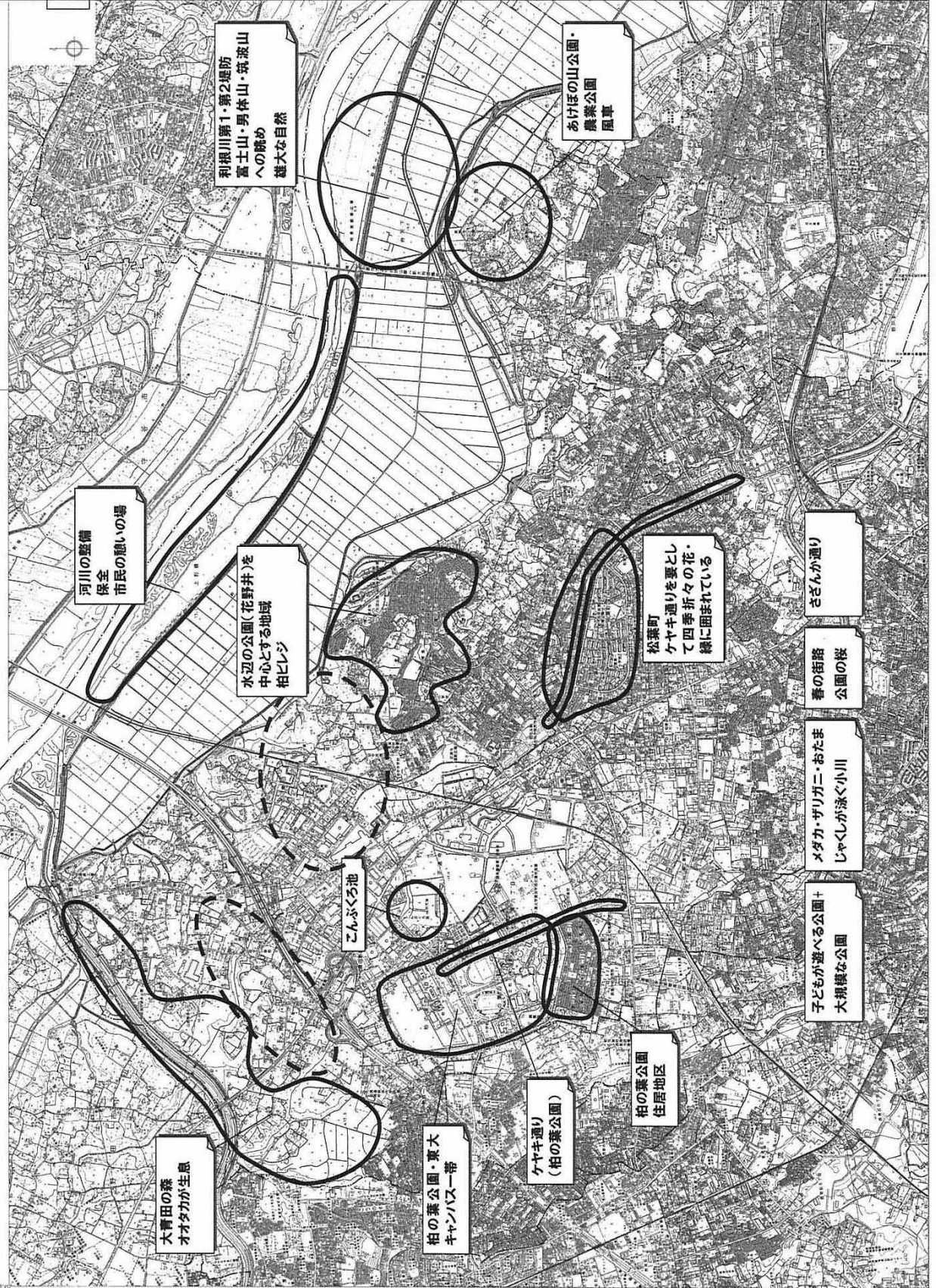
分類	名称	面積 (ha)
保全系緑地(樹林地)		
特別緑地保全地区	南柏特別緑地保全地区	0.48
市民緑地	南増尾小鳥の森市民緑地	0.49
	篠籠田市民緑地	2.42
	計	2.91
みどりの広場	つくしが丘三丁目みどりの広場	0.88
	つくしが丘五丁目みどりの広場	0.60
	南増尾みどりの広場	0.92
	若紫みどりの広場	0.24
	光ヶ丘みどりの広場	0.53
	明原みどりの広場	0.41
	柏みどりの広場	0.19
	豊四季みどりの広場	1.15
	藤心栗ノ巣みどりの広場	0.16
	柏五丁目みどりの広場	0.15
	四季原みどりの広場	0.38
	計	5.61
保護地区		77.01
沼南の森		3.76
ふるさとの森		1.39
保全系緑地(史跡)		
文化財(史跡)	松ヶ崎城跡	1.49
	藤ヶ谷十三塚	0.07
	北ノ作1号・2号	0.69
	カタクリ群生地	0.25
	宮根遺跡	
	計	2.50
保全系緑地(史跡)		
農用地区域		1716.00
生産緑地地区		192.33

5) 市民懇談会における意見と意見シートまとめ

●第2回市民懇談会 意見のまとめ(地域別)(平成19年10月12日)



北部地域



大曾田の森
オオタカが生息

柏の葉公園・真大
キャンパス

ケヤキ通り
(柏の葉公園)

柏の葉公園
住居地区

こんぶくろ池

河川の整備
保全
市民の憩いの場

水辺の公園(花野井)を
中心とする地域
柏ヒレジ

利根川第1・第2堤防
富士山・男体山・筑波山
への眺め
雄大な自然

あけぼの山公園・
農業公園
風車

松葉町
ケヤキ通りを要とし
て四季折々の花・
緑に囲まれている

さざんか通り

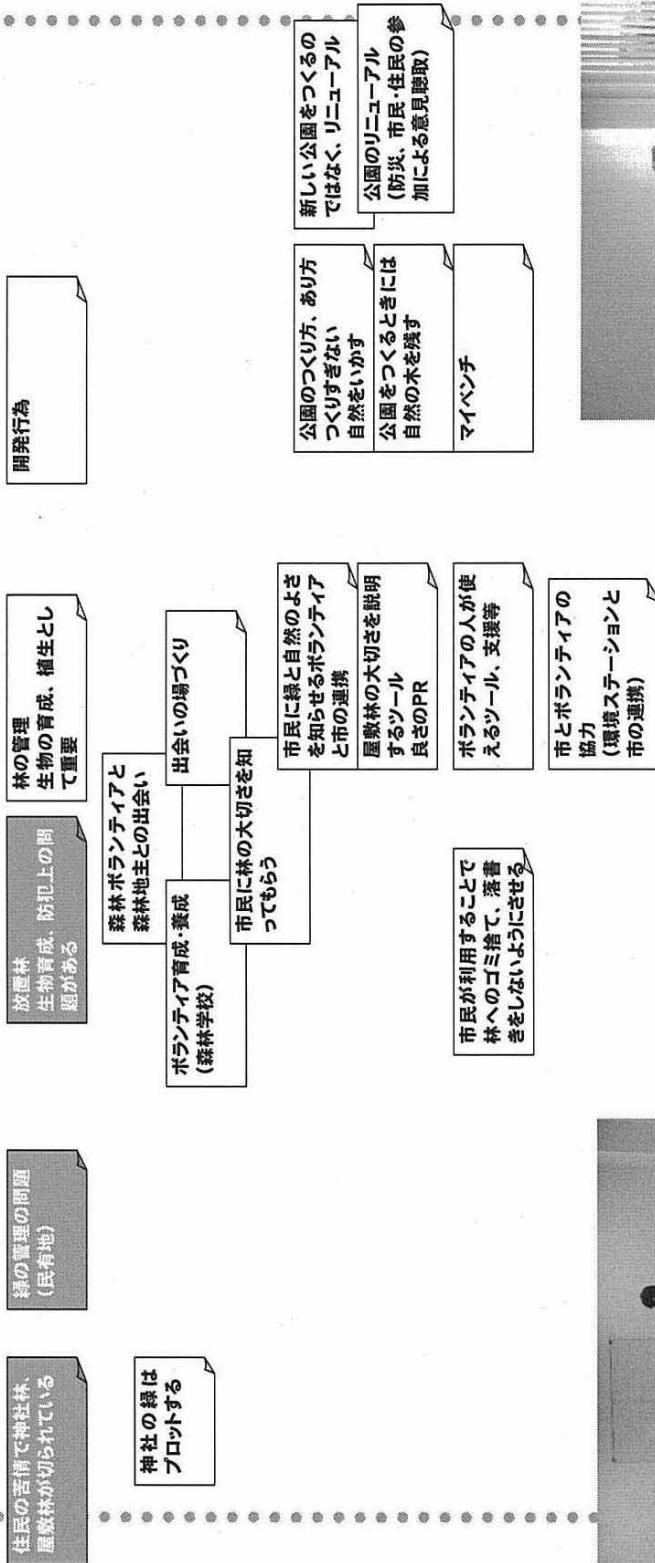
香の街路
公園の桜

メダカ・ザリガニ・おたま
じゃくしが泳ぐ小川

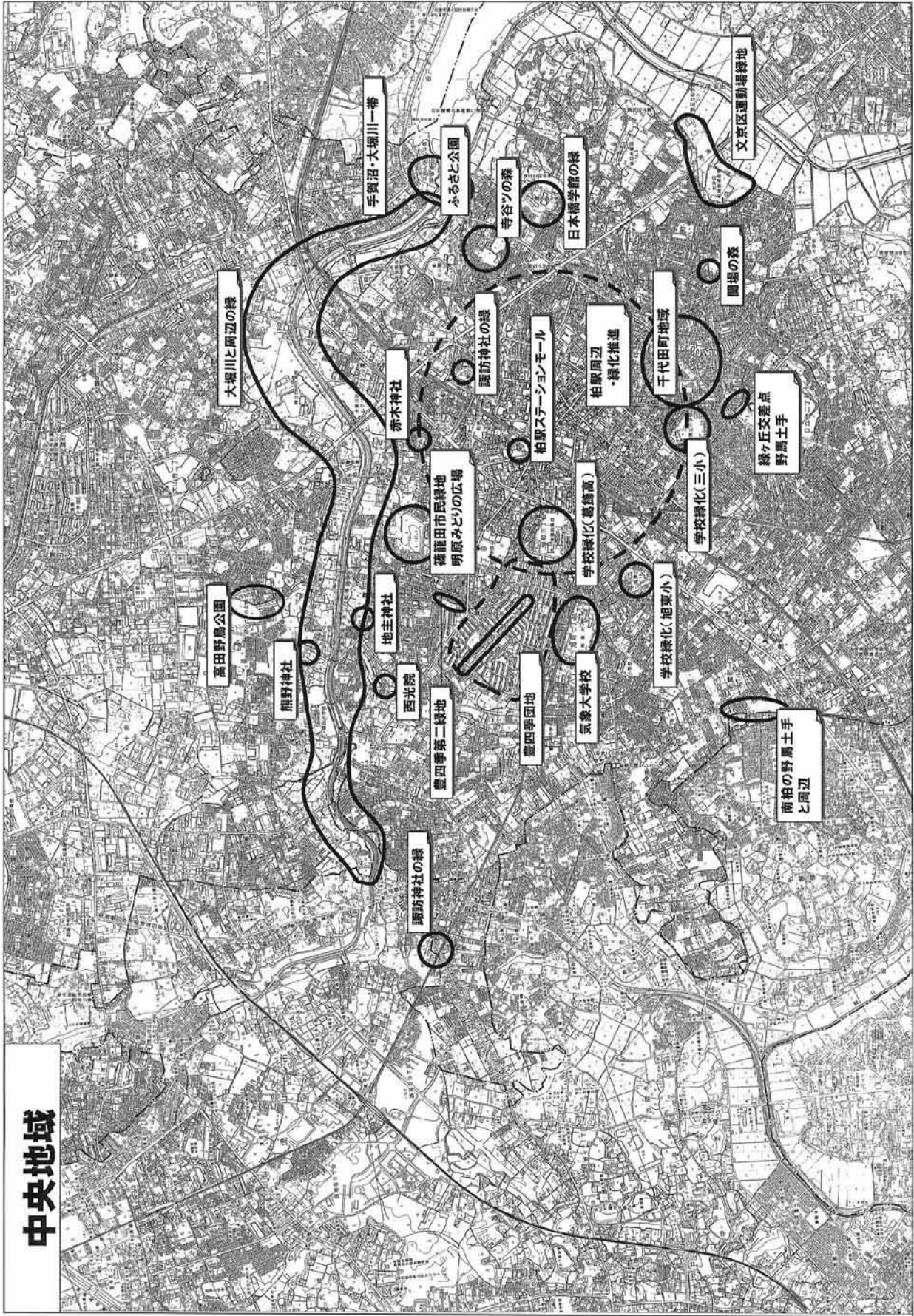
子どもが遊べる公園+
大規模な公園

中央地域

問題点や今後考えるべきこと など

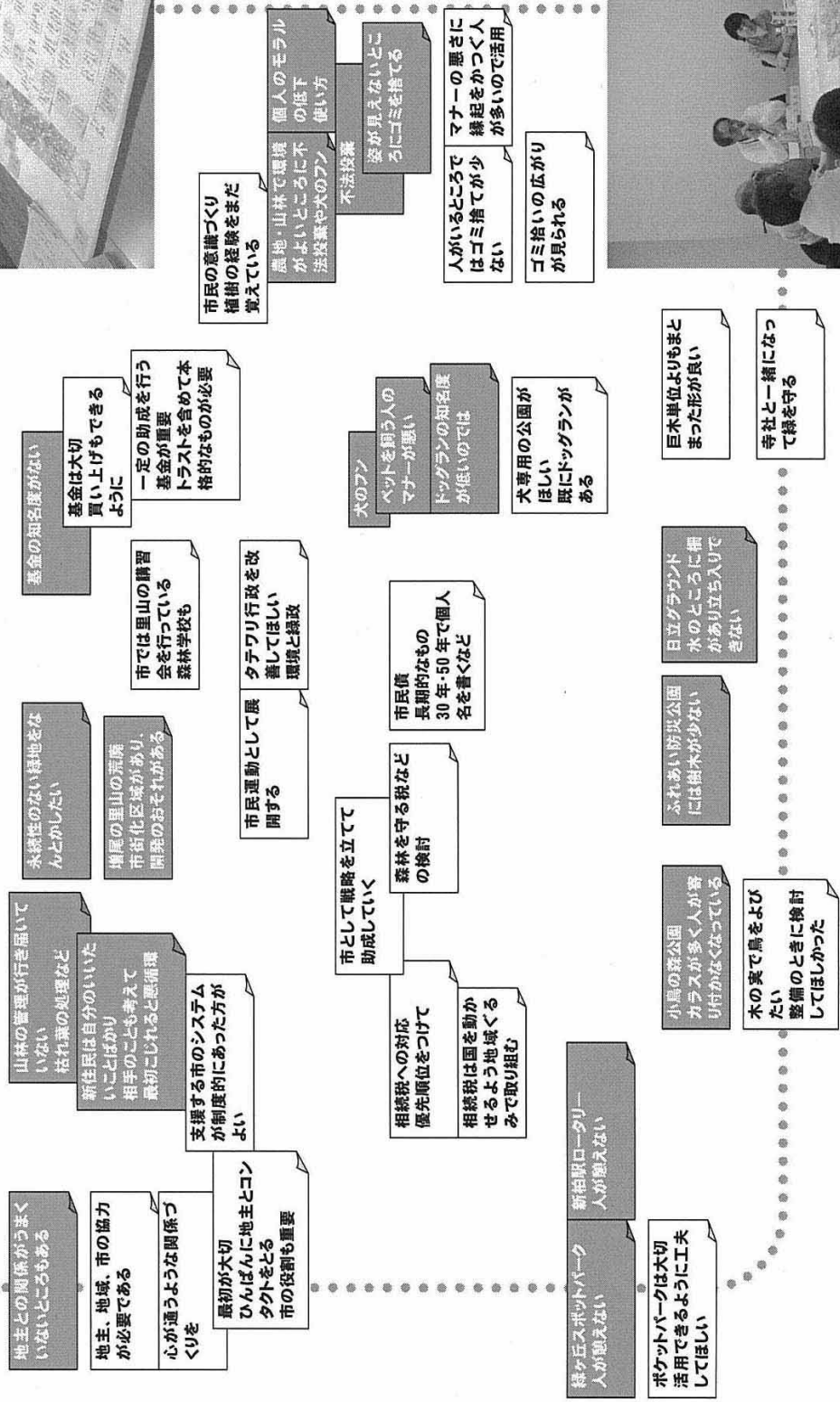


中央地域



南部地域

問題点や今後考えるべきこと など



市民の高齢づくり
植樹の経験はまだ
覚えていない

農地・山林で環境
個人のもラル
がよいところに不
法投棄や犬のフン
使っている

不法投棄
姿が見えないとこ
ろにゴミを捨てる

人がいるところで
はゴミ捨てが少
ない

マナーの悪さに
緣起をかつく人
が多いので活用

ゴミ拾いの広がり
が見られる

犬のフン
ペットを飼う人の
マナーが悪い

ドッグランの知名度
が低いのでは

犬専用の公園が
ほしい

既にドッグランが
ある

巨木単位よりもまと
まった形が良い

寺社と一緒になっ
て緑を守る

目立グラウンド
水のところに柵
があり立ち入りで
きない

ふれあい防災公園
には樹木が少ない

小鳥の森公園
ガラスが多く人が寄
り付かなくなっている

木の実で鳥をよび
たい

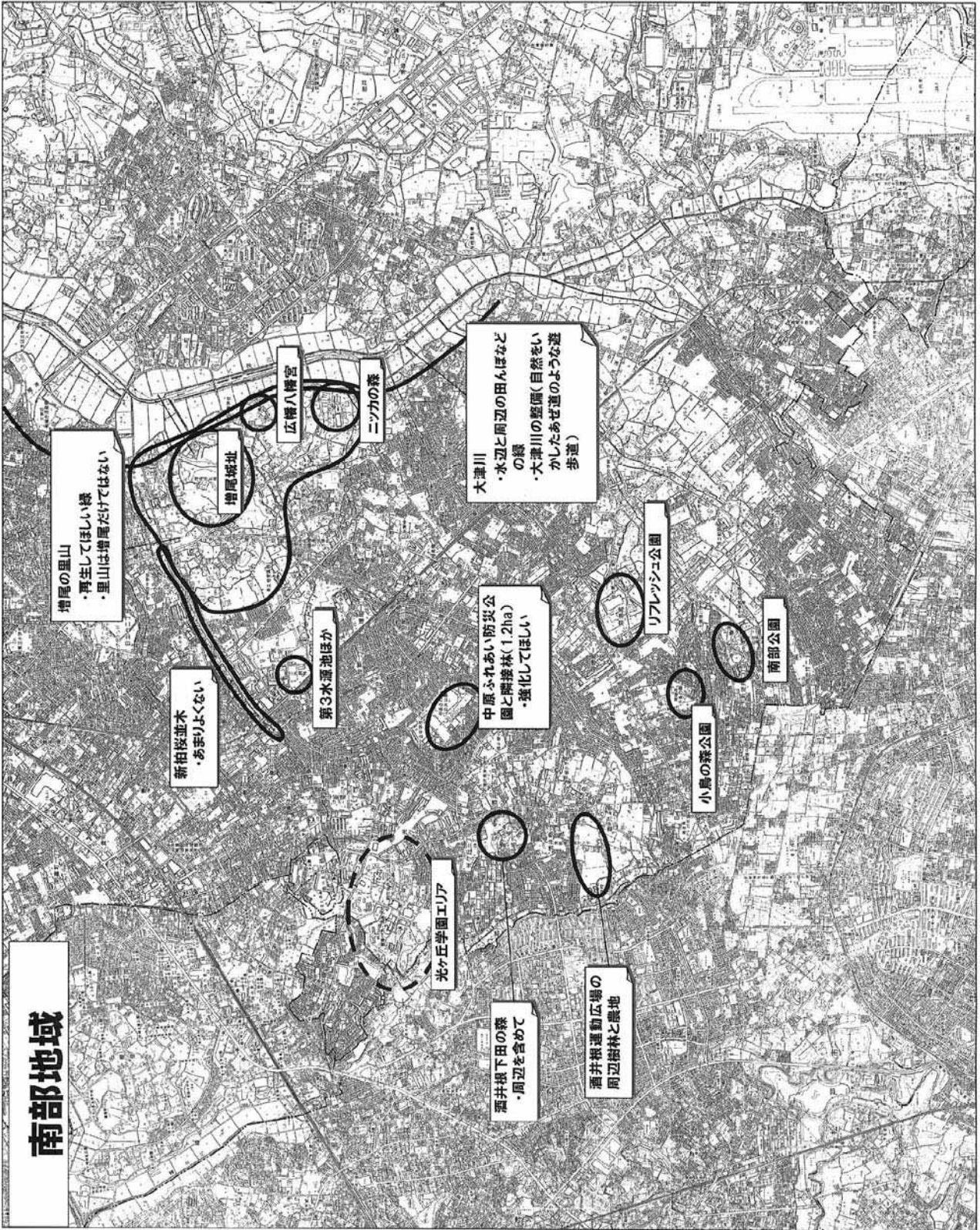
整備のときに検討
してほしい

目立グラウンド
水のところに柵
があり立ち入りで
きない

巨木単位よりもまと
まった形が良い

寺社と一緒になっ
て緑を守る

南部地域



増尾の里山
・再生してほしい緑
・里山は増尾だけではない

新柏桜並木
・あまりよくない

第3水源池ほか

光ヶ丘学園エリア

酒井根下田の森
・周辺を含めて

酒井根運動広場の
周辺樹林と農地

中原ふれあい防災公
園と隣接林(1.2ha)
・強化してほしい

大津川
・水辺と周辺の田んぼなど
の緑
・大津川の整備(自然をい
かしたあぜ道のような遊
歩道)

広幡八幡宮

ニッカの森

増尾城址

リレンス公園

小島の森公園

南部公園

沼南地域

問題点や今後考えるべきこと など

ゴミ捨ては全体の問題

捨てられれば
すぐに拾う

地域以外の人が
捨てていく

ゴミ捨てをどうするか

樹齢 500 年の木が
あっても、相続の
時には不利

相続時に緑を残すよう
に配慮できないか

保存してよかったと所
有者が言えるよう
に

必要なところ(緑ヶな
いところ)に必要な緑
を確保する

沼南エリアに苗圃をつ
くって柏エリアに植える

活性化
人が住むようにしたい

沼南エリアに来てもら
える遊びの施設を

優良田園都市構想
埋穴
自然に配慮したつ
くり方

開発時に緑を
残すやり方

ローレルヒルズ
13%の緑を確保し
ている
これを活かしていく

大津川に水を戻
すように
浄化した水

基金をもっとPRすべき

教育の森(千葉県)
箕輪、藤ヶ谷など
利用すべき

学校との連携
柏エリアの子どもたちに
林や田んぼを体験させる

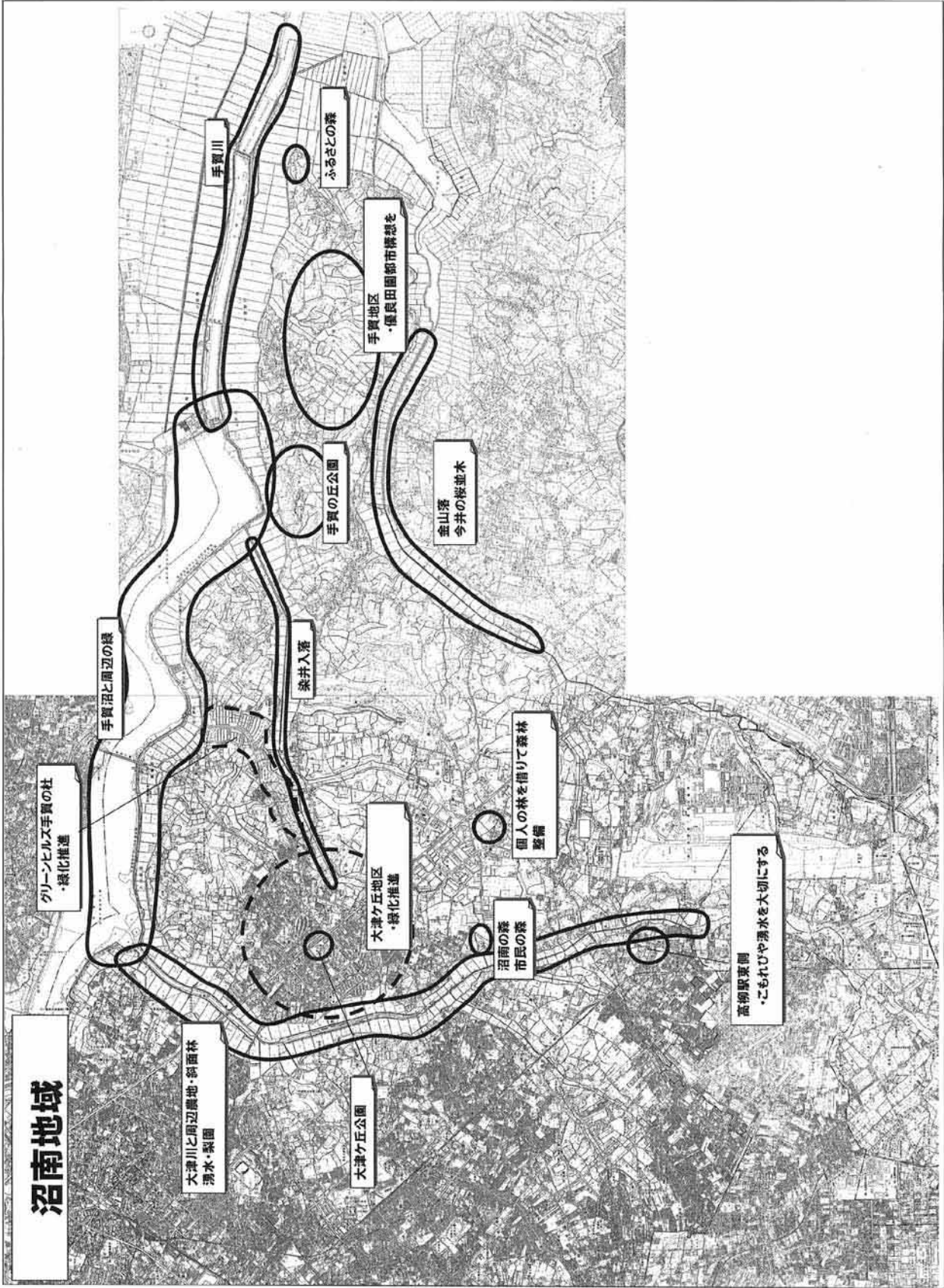
イベント時に市民を対
象として花の種・苗を
配布する

松戸市は市民憲章をも
っている

山林がつくる炭素量を測
定して金額に換算して重
要性をアピールする

公園などにトイレ
簡易なものでもよいの
で設置してほしい





●第2回市民懇談会 意見のまとめ(全体総括)(平成19年10月12日)

■公園やオープンスペースについて

●つくり方

- ・ 自然を活かし、つくりすぎない(調整池も)
- ・ リニューアルが多くなるので、防災への配慮や地域住民の意見を聴くことを重視すべき
- ・ マイベンチの設置

●里親制度

- ・ 大堀川等の樹木の維持・保全

●施設

- ・ 簡易なものでもトイレが必要である
- ・ ドッグラン(利用者のマナーの向上を含めて)

●ポケットパークなど

- ・ 市民が憩えるように(緑ヶ丘スポットパーク、新柏駅ロータリーなどは憩えない)
- ・ 活用できるように

■取り組み全般について

- ・ 市民運動として進める
- ・ タテワリ行政を改善すべき(緑と環境など)

■開発について

- ・ 緑の育成のために一定の資金提供や活動などの義務を負わせる
- ・ 開発時に緑を残す方法を(ローレルヒルズ手賀の杜が13%の緑を確保)
- ・

■教育について

- ・ 学校との連携が重要である(林や田んぼを体験させる)
- ・ 県の教育の森(箕輪、藤ヶ谷など)を利用すべき

■水・水辺について

- ・ 大堀川などの河川の緑の保全
- ・ 大津川に水を戻していく
- ・ 利根川沿いの緑の保全といこいの場づくり
- ・

■沼南エリアについて

- ・ 人が来るための仕掛けを(遊び、住む)
- ・ 苗圃として活用し柏エリアに植樹する
- ・ 優良田園都市構想の推進を(自然に配慮したつくり方)

■(財)柏市みどりの基金について

- ・ もっとPRをして知名度を上げる
- ・ 買い上げができるようにすべき
- ・ 助成を行い、トラストを含めて本格的なものにする必要がある

■意識づくりについて

- ・ 市民の意識づくりが重要である
- ・ イベント時に花苗を配布する
- ・ 市民憲章をつくる(松戸市のように)
- ・ 山林の重要性をアピールする(山林がつくる酸素量を測定して金額に換算するなど)

■緑の保全や管理について

●緑の保全・管理

- ・ 枯れ葉の処理などの管理が行き届いていない
- ・ 苦情で神社林や屋敷林が切られている。寺社と一緒に緑を守る必要がある
- ・ 林の管理は生物の育成や防犯の面からも重要である
- ・ 永続性がない緑地を保全する必要がある
- ・ 巨木単位よりもまとまった形がよい
- ・ 増尾の里山の荒廃をどうするか(開発のおそれがある)
- ・ オオタカが生息している大青田の森の保全が重要である
- ・ 根戸の富勢中学校南東部の約 5000 m²の樹林地の保全要望(傍聴者意見)

●市民・ボランティア・所有者と市

- ・ 市民に林の大切さをPRする(そのためのツールも必要)
- ・ 森林ボランティアなどの育成(森林学校など)
- ・ 市とボランティアの協力(環境ステーションと市の連携など)
- ・ 所有者との心のかような良好な関係づくりが重要(出会いの場づくりやそれを支援する介在などの市の役割や制度が必要)

●ゴミ捨て

- ・ ゴミ捨てをどうするか
- ・ モラルが低下している(地域外の人が捨てる)
- ・ 市民が利用することで林へのゴミ捨てなどをさせないようにする
- ・ ゴミ拾いの広がりが見られる
- ・ 捨てられればすぐに拾う

●税制など

- ・ 森林を守る税などの検討
- ・ 相続税対策には優先順位や地域ぐるみでの取り組みが必要
- ・ 30年や50年など長期の市民債の検討
- ・ 戦略的に助成する
- ・ 所有者が緑を保全してよかったといえる制度を
- ・ 樹齢500年の樹木などを残せるように